



沖教育長を表敬訪問した入賞者の皆さん

8/22 水泳競技で多くの入賞者
県民体育大会夏季大会水泳競技

みやま市で8月19日に行われた第61回福岡県民体育大会夏季大会水泳競技での入賞者が、8月22日に沖教育長を表敬訪問し、入賞を報告しました。入賞者は次のとおり(敬称略、かつこ内は所属名)。島添泰人(矢ヶ部小4年)、中川原遥斗(柳河小6年)、八田菜々実(昭代第一小6年)、伊藤新次郎(同6年)、河野羽良(同6年)、山田美優(東宮永小6年)、亀崎愛海(両開小5年)、八田奏志(昭代中3年)、河野琉杏(同3年)、富勇介(柳川スイミング)、大澤純加(同)

8/22 プロによる本格指導
筑後七国中学生野球教室

筑後七国活性化協議会は、8月22日、市民三橋グラウンドで筑後七国野球教室を開催しました。この催しは、筑後市に2軍本拠地を置く福岡ソフトバンクホークスのOBが筑後七国の中学生にプロの視点で指導を行うというもの。この日は、市内の中学校から69人が参加。生徒たちは投手、守備、打撃に分かれOBの若菜嘉晴さんや西村龍次さん、田中瑞季さんからの本格的な指導に目を輝かせていました。



ホークスのOBから打撃の指導を受ける選手

9/3 久留米高専バレー部が3連覇
全国高等専門学校体育大会

8月25、26日に久留米アリーナで開催された第53回全国高等専門学校体育大会バレーボール女子で、市内在住の乗富綾乃さん、乗富菜さん、西岡莉子さんの3人が所属する久留米高等専門学校バレー部が3連覇を達成。9月3日、3人は沖教育長を訪問し、優勝を報告しました。西岡さんは「無事に勝つことができほっとしている。来年も優勝して4連覇を果たせるように練習を頑張りたい」と決意を新たにしました。



右から乗富綾乃さん、西岡莉子さん、乗富菜さん

9/3 こっぼりーから義援金
西日本豪雨災害被災地を元気づけよう

市マスコットキャラクター「こっぼりー」が9月3日、市役所柳川庁舎を訪れ、西日本豪雨災害被災地への義援金を、金子市長に手渡しました。こっぼりーは、7月下旬から8月上旬にかけて、市内スーパーや柳川ひまわり園などに出かけ、11日間で合計15万3979円の義援金を集めました。こっぼりー運営委員会の友添裕一会長は「皆さんの気持ちが詰まった義援金を被災地に届けてください」と金子市長に話しました。



義援金を届けた「こっぼりー」と実行委員会の皆さん

ふるさとレポート

9/30 地域を巻き込む渦潮のように
絵本&スナック「うずしお」オープン

京町商店街の元釣り具屋だった店舗になんとか変化が。中をのそくと、温かな光に包まれたカウンターや天井には川下りを彷彿とさせる舟、そしてキラキラと光るミラーボール。お店はリノベーションされ、絵本&スナック「うずしお」に新しく生まれ変わります。

この店のオーナーは、市出身の堤由貴子さん。青年海外協力隊としてモンゴルに行ったときに感じた、地域のつながりや人の温かさを地元でも広げたいという思いから、コミュニティスペース「うずしお」をオープンさせます。メニューには、市の食材を使ったものも予定。後々は民泊もできるそうで、海外のお客さんとの交流の場になりそうです。和室スペースには、子どももくつろげるよう、絵本などを用意。ピアノを置き、ライブやコンサートが行えるイベント貸し出しスペースもできるとのことです。

壁やカウンターのほとんどは廃材を生かし、いらなと思ったものを見直しみんなで作り上げる。大人も子どもも気軽に楽しめて、いつの間にかいろんな人が集まり渦巻いていく。人との温かなつながりをつくる、絵本&スナック「うずしお」は9月30日オープンです。



1 リノベーションで新しく生まれ変わった店内 2 ゆっくりと食事が楽しめるカウンター 3 ミラーボールの光でお洒落な雰囲気

(取材：ふるさとレポーター古賀理紗)

9/4 迅速な行動で火事を未然に防ぐ
初期消火消防功労者表彰

市消防本部は、9月4日、火災による延焼拡大を未然に防いだとして木原新治さん(西浜武、59歳)に感謝状を贈りました。木原さんは、8月1日、出火宅の住人が助けを呼びにきたので、バケツに水をくみ現場へ急行。玄関先で炎が上がっていたため、近くにあった水道ホースを使って素早く消火し、火災の延焼を防ぎました。木原さんは「当たり前のことをしていただけ。大事に至らずに済んで良かった」と話しました。



木下消防長から感謝状を贈呈される木原さん(左)

9/6 口に手を当て緊急避難
あけの保育園で防火教室

9月1日の「防災の日」にちなみ、9月6日、あけの保育園で「防火教室」が行われました。これは小さな頃からの防火普及啓発を目的として、市幼少年婦人防火委員会が主催したもので、今年は5園で実施。この日は、防火アニメや給食室を火元と想定しての避難訓練、保育士たちの消火訓練などが行われました。非常ベルが鳴る中、園児たちは市消防署員から教えてもらった避難時の注意点などを守り避難していました。



手で口を押え非常階段から避難する園児たち